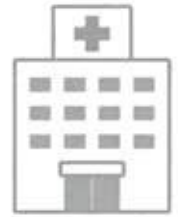




笠栄会

質問者

おくのやすひさ
奥野泰久議員
所属議員
やまもととしあき
山本俊明議員
せのおひろゆき
妹尾博之議員



市民病院の経営を問う

議員 病院経営については各議員も心配をしている。平成29年6月26日付けの議会からの意見書に対し、どう対応したのか。

市長 医業収支比率・累積欠損金については改革プラン検討委員会で見解を頂き、実現性から改革プランへの反映は困難となった。病院事業管理者の早期招へいは困難であるが要請していく。意見書については重く受け止めている。

議員 議会よりも、執行部内の機関の考えを優先するのか。

副市長 意見書については重く受け止めてしっかりやっていく。ただ、我々は医療のプロではないので、改革プランについては医師の意見を大事にしたい。

議員 赤字に転落して以来、プロの先生方の知恵を頂きながら来た。しかし、どうにもならなかった。そこで、議会として最終的に意見書を上げている。条例化したらどうなるのか。

総務部長 条例化すれば拘束力・強制力はありませんが、意見書としていただいているので真摯に受け止め努力したい。

新年度予算への選挙公約の反映は

議員 選挙公約は予算に反映したか。

市長 約15億円計上している。企業誘致が順調に進み、国道2号バイパス工事が本格着工した影響が大きい。一方、小中一貫校整備や消防署南署については予算計上はなく、引き続き検討、検証を行い、方向性を出したい。



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

島の日本遺産登録を、地域振興に出来るか？

議員 笠岡諸島日本遺産認可による経済効果をたずねる。

市長 総合計画における市全体の観光客数目標値では、平成33年は6・2億円、平成37年は30億円を試算している。

議員 産業関連表で、笠岡市は宿泊に弱いとあるが、民間の宿泊施設のトイレ等の最低限の整備に補助が考えられないか。

副市長 国の補助金の活用により、市の負担を小さくし、大きな事業費をかけずにソフトから観光振興につなげていきたい。

議員 観光施策を考えるうえで駅の橋上化を優先すべきでは。



市長 JRと協議していく。

健康施策は市民の協力が不可欠

議員 今後の社会保障費の増大は大変重要な課題である。笠岡市も健康寿命世界一を掲げている。元気で幸せに過ごしていただくことで、医療費、介護費の抑制になり、次世代負担の軽減につながる方向性を示している。しかし、市民の参加がない限り効果は出ない。まちづくり協議会へのこういった実情等の情報提供が不足していると思うが。

副市長 健康施策等も情報提供をしながら、一緒に取り組んでいくよう提言をしていきたい。

議員 12月に提案した賞金制度などは励みになるので、ぜひ採用していただきたい。